学校番号	３００２

令和５年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	農業経営	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	農業経営　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は、グループワークを通して、日本の農業の在り方や生産物のブランディングなど、農業経営の改善を自ら実践する態度を身につけてもらいます。また、学校農場や地域の農業経営などの身近な事例から、農業会計や農業経営情報の必要性を理解し、農業経営の設計と管理に必要な知識と技術の習得をめざしています。

2　学習の到達目標

農業経営の設計と管理に必要な知識と技術を習得し、ブランディングやマーケティングの必要性を理解し、経営管理の改善を図る能力と態度を培う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農業経営に関する諸課題について関心をもち、農業を経営する楽しさなどを経験し、意欲的、かつ主体的に取り組んでいる。また、経営管理の改善を図ろうとする創造的・実践的な態度を身に付けている。	農業経営の諸課題の解決をめざして思考を深め、農業経営の改善ができるように表現する創造的・実践的な能力を身に付けている。	農業経営の改善に必要な農業会計や情報処理、経営診断と設計に関する基本的・体系的な技術を身に付けている。また、経営の設計と管理に関する技術を適切に活用している。	農業経営の設計と管理に関する基本的・体系的な知識を身に付け、ブランディングやマーケティングの必要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果 レポート課題	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	農業経営とは？	第1章　農業の動向と農業経営 1節　日本と世界の農業 2節　農業・農村と食料・環境 3節　こんにちの農業経営 第2章　農業経営の組織と運営 1節　農業経営の主体と目標 2節　農業生産の要素 3節　農業経営組織の組み立て 4節　集団的取組と法人化 5節　農業経営の運営	○	○	○	○	a:農業経営における組織や運営に関して興味を持ち、農業白書を理解し日本農業の在り方を学ぼうとする。 b:農業経営における組織や運営の仕組みについて理解し、考察した中で自分の考えを導き出せる。 c:農業経営における組織や運営に関して内容を習得し過程及び結果を記録している。 d:農業経営における組織や運営についての知識を習得している。	学習状況 探究活動 ノート ワークシート 定期考査
2学期	農業のマーケティング・簿記	第3章　農業経営と情報 1節　農業経営を取り巻く環境 2節　情報の収集・活用 3節　農業のマーケティング 4節　農業経営の社会環境 第4章　農業経営の会計 1節　簿記の基礎	○	○	○	○	a:農業経営の会計に関して、国際化での日本農業を意欲的に学ぼうとする。 b:農業経営の会計について理解し、考察した中で自分の考えを導き出せる。 c:農業経営の会計に関して基礎的な内容を習得し、過程及び結果を記録している。 d:農業経営の会計についての知識を習得している。	学習状況 探究活動 ノート ワークシート 定期考査
3学期	農業経営と情報	第4章　農業経営の会計 2節　各種取引の記帳と決算 3節　農産物の原価計算	○	○	○	○	a:農業経営の簿記に関して意欲的に学ぼうとする。 b:農業簿記の知識について理解し、経営で自分の知識を導き出せる。 c:農業経営の基礎的内容を習得し、過程及び結果を正しく記録している。 d:将来の農産物自由化を踏まえた農業経営の基礎と展開の知識を習得している。	学習状況 探究活動 ノート ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。